

風と太陽のくにからの通信誌

カラゴロリ

12-1
2013-2014



MIDO
91

「ヒマラヤスギ」

所内にも何本かあるヒマラヤスギ。ヒマラヤスギの実^①は木についている時はとても大きく、細長い^②が、乾燥しきって地面に落ちる頃には実の先端部分が離れ、まるでバラの花の形になる。その形から「シーダーローズ」とも呼ばれているが、下の方からはらはらと剥がれて落ちていく様子もまたバラの花が散るように美しい。

風のおと

赤城は少しだけ不便です

テレビはありませんし、食事の時間は決められています。シーツも自分で敷かなくてははいけませんし、掃除も自分たちでしないといけません。

キャンプ場はもう少し不便です。トイレは水洗ではありますがウォシュレットではないですし、お湯も出ません。冷暖房はありませんし、虫もたくさんいます。

こんな不便ではありますが、だからこそ、みんなで工夫して、協力して、暮らしてくれるといいなと思っています。

それが、生きるということだと思っております。ここでの体験を普段の生活に活かしてほしいのです。

普段の生活の中で、不便なことに出会ったときに、工夫すれば、協力すればいいのだよなって思えるようになってほしいです。

不便を友として、ものすごく便利でなくてもいいかなって思ってもらえるようになってほしいです。だって、便利になり続けるということは、どんどん地球や自然を痛めつけたり、地域間格差を作ることになると思うからです。

所長 桜井義雄^{よしひこ}



福島子どもカプロジェクト
ふみだす探検隊

赤城の森でリフレッシュ!!

～友だちと一緒に思い切り遊ぶ～

子どもたちの学びと育ちを支援し、将来の福島を担う人材を育成していく「福島子どもカプロジェクト ふみだす探検隊」は、岩手、宮城、新潟、福島、群馬、長野県にある国立施設をフィールドに、外遊びなどのキャンプの体験を通して、子どもたちがたくましく生きていくための力を育てる取り組みです。

(主催：独立行政法人国立青少年教育振興機構)



自分たちで作った秘密基地の中で記念写真。お昼ご飯も、もちろんここで。

木材を使用したネイチャークラフト、郷土料理づくりを実施。どれも、群馬のフィールドを活かしたものです。

滞在時間は、平均して24時間しかありませんが、子どもたちは、思いっきり体を動かし遊んでいきます。走ったり、歌ったり、自然に触れて、キャンプ中は笑顔がたくさん満ち溢れています。

最終日、子どもたちは「また来たい」とスタッフに言ってバスに乗ります。これからも“オールぐんまのおもてなし”で、福島の子どもの成長を見守っていきます。(文：井上)



当所では、群馬県内の企業や団体と連携したプログラムを提供しています。(連携企業や団体は次の通り。前橋市赤城少年自然の家、サンデンフォレスト、赤城自然塾、ぐんま山森自然楽校、アドベンチャー集団Do!、群馬大学、南牧村、わくわく体験ぐんまサポートセンター)

子どもたちは、朝、福島駅か郡山駅に集合し、バスで約4時間かけて群馬へ向かいます。長時間の移動に、疲れた子もいれば、早く身体を動かしたくてたまらないという子もいます。群馬の雄大な景色のもと、心と体をほぐしたら、楽しい活動のはじまりです。活動はこれまでに、森あそび、上州うどん打ち体験、大沼でカッター体験、秘密基地づくり、焼き芋体験、赤城山ハイキング、キャンプファイヤー、南牧村田舎体験、群馬の



それぞれの回で思い出の品を作って持ち帰ることができます。

今後のふみだす探検隊 スケジュール

日程	内容	連携団体
第6回 11/16～17	ハイキング・キャンプファイヤー フォトフレームづくり	前橋市赤城少年自然の家
第7回 11/23～24	田舎体験・焼きいもづくり ネイチャークラフト	ぐんま山森自然楽校 わくわく体験ぐんまサポートセンター
第8回 11/30～12/1	アウトドアクッキング トレッキング・クラフト	アドベンチャー集団Do!
第9回 2/1～2	スノーシューハイキング 布草履づくり	前橋市赤城少年自然の家
第10回 2/8～9	赤城の伝統食づくり	国立赤城青少年交流の家

これからの動き

下記の事業の詳細はこちらまでお問合せください⇒TEL027-289-7224(国立赤城青少年交流の家) ☎



■【日独指導者セミナー】

※3泊4日

・12/1(日)～4(水)

日本とドイツの様々な青少年問題やその対応策についての情報交換や意見交換を行う相互交流事業を実施します。



■【あかぎカップ第3回中学生冬季バスケットボール交流大会】

・12/27(土)～28(日)

群馬県内外の中学校バスケットボール部を対象にした、交流事業です。

■【サバイバルキャンプ～災害時に絶対役立つ野外生活術～】

※1泊2日

・1/11(土)～12(日)

・1/18(土)～19(日)

小学校3年生～中学生を対象に非常時に活かせるサバイバルスキル(野外生活術)を身につけ、たくましさ育てるプログラムを地域の自然学校と連携し、実施します。



■【あかぎカップ第3回小学生ミニバスケットボール交流大会】

・2/8(土)～9(日)

群馬県内外の小学生を対象にした、ミニバスケットボールの交流事業です。

■【あかぎサンサンかがやきキャンプ】

※1泊2日

・2/8(土)～9(日)

障がいのある子どもない子どもと一緒に楽しく活動するキャンプです。

メインプログラムは雪遊びと星空観察を実施する予定です。

プログラム紹介!

【うどん打ち】

群馬県は粉もの料理が盛んで、香川県の讃岐うどん、秋田県の稲庭うどんとともに、群馬県の水沢うどんは日本三大うどんの1つです。そんな群馬県で行うのにピッタリな「食の体験」が楽しめるのがこの「うどん打ち」です。

粉と水を混ぜ生地をこねます。何度も何度も踏みながらこねると、うどんにコシが生まれます。時間がかかりますが、大事な工程です。本格的なうどんを切る道具を使って、等間隔にうどんを切り、さつとゆで上げれば、コシのあるうどんの完成です。グループのみんなが協力しながら作ります。



終わったころにはもう、うどん職人?!

粉と水を合わせて打ち、食べる。全ての工程を自分たちの手で行います。手間がかかる分、食べた時のおいしさは格別です。

赤城ならではの「食」のプログラムを是非ともお楽しみください。

(文:山田)

国立赤城青少年交流の家で活躍する、講師やボランティアの方をご紹介します

この人に会いたい

●国立赤城青少年交流の家 施設警備(オネスティ株式会社)

桑原 敏夫さん



いつも朝早くから事務所内の清掃をしてくれている桑原さん。

警備員の桑原さんは、二種類の目で交流の家をいつも見守ってくれています。

一つ目は異常を見逃さない鋭い目。桑原さんを始め警備員の皆さんは、1日4回の巡回を行い、施設内だけでなく敷地の隅々まで点検し、我々の安全を守ってくれています。天候や季節によっては大変厳しい業務ですが、「手を抜かないこと」と「正直であること」をモットーに、鋭い目で

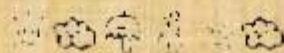
異常を見逃さないよう見守ってくれています。

二つ目は、利用者を見守る温かな目。桑原さんは、人と接することが大好きで、積極的に利用者や職員に挨拶や声掛けをしてくれます。そんな優しい警備員、桑原さんがうれしいことは、利用者の方々が挨拶を返してくれたり、話しかけてくれることだそうです。特に小学生や園児のみんなの素敵な笑顔や挨拶に元気をもらっていると笑顔で語ってくれました。

今度、当所を利用した際に施設内で桑原さんを見かけたら、是非話しかけてみてください。きっと温かな笑顔で対応してくれますよ。(文:根岸)

あかぎをつかう!

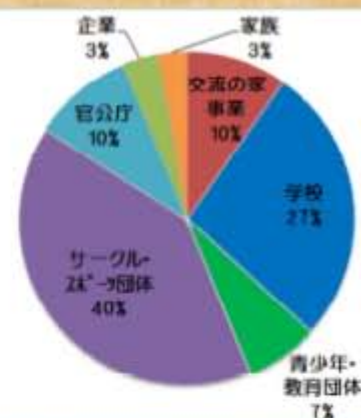
利用のようす(10~11月)



■10月の利用者数
…10,491人 92団体

■11月の利用者数
…6,555人 52団体

★利用団体
種類別の割合→



11月~2月の平日は、自由に使えるスペースが多くおすすめです。

施設周辺の植物

前号では、カエデの紹介をしました。今回はドングリです。ドングリはクスギ・カシ・ナラ・カシワの実です。

所内を少し散歩するだけでたくさんのドングリに出会うことができます。

写真は左から…

①みずなら ②こなら
③くぬぎ ④しらかし です。

形がいろいろあって楽しいですね。

よく見ると小さな穴があいていることがあります。

ゾウムシやチョッキリムシが近くにいるかもしれませんね。

「森のこびん」「ネイチャークラフト」のプログラムは、色々な種類のドングリであかぎの思い出を作ることができます。

ぜひ、やってみてください。(文:小川)



どうして違うか考えてみてね。

野外活動における・ リスクマネジメント

入門編

第1回

施設をご利用いただく方のために、「安全」について考えていただきたくて、「リスクマネジメント入門編」というコラムを始めさせていただくことにしました。

リスクマネジメントとは「リスクの存在、大きさなどを事前に把握し、合理的な方法とコストで適切な対処策を講じておくことにより、リスクによるダメージを小さくすること」という定義があります。もう少しわかりやすく言えば、事前の対策で予想外をなくし、いかにしてダメージ(事故・ケガ等)を最小限にするかということです。

体験活動でリスクをゼロにすることはできません。一方で、安全を強調するあまり、子どもたちが危険を回避する力を失ってきているという現実もあります。体験活動を提供する指導者は、現場の安全を確保する役割も担っています。

次回からは、具体例をもとにリスクマネジメントを考えていきたいと思います。(文:高瀬)



【レオナルド・ダ・ヴィンチ牧場】<http://sudatinomori.com/>

レオナルド・ダ・ヴィンチ牧場は、赤城山の南麓にある乗馬施設です。人数は1名から50名くらいまで、年齢は未就学児童からお年寄りまで、幅広く対応しています。

ここは単なる乗馬施設ではなく、障がいのある方が自立できるように、馬の世話を通して仕事を学べる就労支援を行っているのも特徴の一つです。



そして、
なんと
いろいろな種類の馬に出会えます。

平成26年3月31日まで「カラゴロリvol.16 12-1月号」を持参していただいた方は、体験乗馬が1回1,500円で体験できます！これを機に乗馬に挑戦してみたい方はいかがでしょうか。

馬には癒されるし、カロリーもたくさん消費するのでダイエット効果も期待できますよ(〇)
(文:江原)



白馬に乗って「さあ、行くぞー!!」

- 所要時間: 交流の家から車で15分 ■住所: 〒371-0105 群馬県前橋市富士見町石井1880-1
 - TEL: 027-288-2901 ■営業時間: 9:00~16:00 ■定休日: 火曜日・木曜日
 - 料金: 引き馬、馬場2周 500円 一般乗馬(ビジター)1鞍45分 指導あり 4,200円
- ※施設、保育園、幼稚園、学校などに馬を連れて行ってひき馬を体験してもらう 訪問乗馬(出張乗馬)も行っておりますので、詳しくはお電話にてお問い合わせください。

リレーcolumn すたっぷの目

「見えるもの、見える心」

文: 小川 義人
【おがわ よしと】



利用チームのキャプテン!!
施設内の整備から予約受付の
取りまとめまで、頼りになります!

スタッフの目。ですから見えたものをあげてみることにしました。

春…ふきのとう、タラの芽、ゼンマイ、アカヤシオ、サルノコシカケ、マムシグサ

夏…稲妻、ミヤマクワガタ、キジの子、オニヤンマ、ウスバノキトンボ、ヤマカガシ

秋…イノシシ、シカ、カエデ、トチの実、クルミ、むかご、アケビ

冬…雪、ロウバイ、霜柱、鍋割山の朝焼け、燃えるような夕焼け、輝く星空と夜景

自然豊かな赤城山。ちょっと目を横に向けるだけでたくさんの自然がお出迎えしてくれています。

しかし、気づく目と心がないとただの風景に過ぎません。ここに来てから1年半。風景になってしまっている貴重なものがまだまだ存在しているに違いありません。自分探ならぬ自然探しの旅は続きます。

皆さんも赤城へ自然探しの旅に来てみてはいかがでしょうか?

つぶやき田

【今回のつぶやきは「2013年を振り返って…」】

- 地元のリーグクラブを応援しているのですが、成績不振や選手の不祥事などいろいろありまして、已年だけにへビーな1年でした…(原田)
- 振り返ると、やっぱり慌しかったの一言。残るは1年、良い意味でここ赤城に何かを残したいなあ。(中屋)
- 激動の1年間でした。初めての環境、初めての経験、初めての仕事…。その中で新しい自分に出会えた年でもありました。来年はどんな出会いがあるのかな(木暮)
- 「今年こそ…」と、掲げた目標。「来年こそ…」になりそうな今日この頃……。「ラストスパート」がんばります。(鈴木)
- 4月異動で群馬に引越し、美味しい野菜や豚肉を堪能した1年。仕事面は…来年もっと頑張ります。(森田)
- なんとも落ち着かずバタバタしている年でした(個人的に)。もっとスマートに仕事ができるようになりたいものです。(根岸)
- 10月から赤城で勤務しています。初めてのこぼれの日々で、ふと気が付けば、今年も残りわずかです。(織間)
- 今年の私の目標は、急に倒れないこと。今のところ大丈夫です。結構注意して健康管理しました。いいぞ〜!でも年末が危ない。気を付けます。(桜井)
- 4月から赤城に勤めるようになり気が付けば山は雪景色。2013年はあっという間に過ぎていました。(新井義)
- 3年目、仕事の知識が増えるにつれて、進むべき方向性が分からなくなる。そんな1年でした。(新井伸)
- 1年を振り返って思うことは、目標にほど遠い結果となり、「がっかり」「ためいき」です。来年は頑張りたいです。(佐藤)
- 初めてやったこと。イグルー作り、ファイヤーキーパー、クロカンスキー、砂場作り、LINE、駐車場係、キャプテン。(小川)
- 今年1年、何事も無く健康に過ごせた幸せ!穏やかな1年でした。(神山)
- 「あっ」という間の1年。やり残したことが、たくさんあるような…(阿佐美)
- 7月からの夏は、本当に暑かった。これからは前橋特有のからっ風に立ち向かい、寒さに負けないで頑張ります!(松崎)
- 新天地で新しい出会いの連続でした。人も場所も出来事も全て新鮮でとても良い刺激になりました。(山田)
- 「減量」それが年頭に掲げた目標でした。気づけば年の瀬…。若干の増量に成功しました(T.T)(江原)
- 1にふみだす。2にふみだす。3、4がなくて、5にふみだす(井上)
- 子育て70%、家事18%、仕事10%、自分2%の今年。来年はどうしたいんだー(川崎)
- 正月に願いをかけ、桜が満開だった春。そして、猛暑の長い夏、葉っぱが……。気付けば、年の瀬かぁ!ん〜。(〇)(廣澤)
- 北風が吹き身も心も懐も冷え切った頃。2013年も終わります。お世話になりました。2014年の暖かさはまだか?(小野里)
- またしてもあっという間だったこの1年。がむしゃらさだけで終わらせてはいけないよなあ。(高瀬)
- 自分の出来ることを精一杯やろうと駆け抜けた1年間。なんとか基礎は固まりつつある。2014年は立派なものをつくるぞ!(蔵)

次号は、
2月1日発行予定!

「スタッフブログ」
「Facebook」で
当所の情報を更新中

国立赤城青少年交流の家 <http://akagi.niye.go.jp>

TEL:027-289-7224 (9:00~18:00)

FAX:027-289-7226

〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山27

E-mail: akagi@niye.go.jp

あかぎ カラゴロリ

検索

